

2023年7月10日(月)

## ウクライナの夏祭り

7日の午後、京王相模原線京王稲田堤駅、JR南武線稲田堤駅から徒歩10分のところにある川崎市多摩区の稲田公園で開催されたウクライナの夏祭り『クパーラ祭(イワナ クパーラ Ivana Kupala)』に参加して来ました。

日本に住むウクライナ人は2000人程度だとされていますが、2021年のロシアによる軍事侵攻以降、徐々に在日ウクライナ人は増えています。こうした人たちによりウクライナ文化の普及と、日本とウクライナとの友好、在日ウクライナ人の交流を深めるため、2021年にNPO法人「日本ウクライナ友好協会 KRAIANY(東京都港区)」が設立され、このクパーラ祭を企画・運営したそうです。

赤い編み込みの刺しゅう柄が入ったウクライナの民族衣装「ヴィシバンカ」を身につけた人々による伝統舞踊「ホロヴォード」の披露、お守り「モタンカ人形」や「クパーラ」の楽曲紹介など手作り感満載のワークショップが行われました。ウクライナの伝統的なパン料理「プリジキ」やパイ料理「テルティ プィリーグ」などを販売するコーナーもあり、賑わっていました。

日本ではまだまだクパーラ祭は知られていませんが、クパーラとは、東スラヴ系民族の文化で、夏の太陽を象徴する神クパーラの誕生を祝福する祭です。この日だけは「水」と「火」が仲良くなり、この一体化が自然のパワーになると考えられています。男女カップルで火渡りしたり、川で身体を清めたり、花冠(リース)を川に流して安全や健康を祈願したりします。何と言っても、皆の願いはウクライナとロシアの平和であり、この度の戦闘で両足を失い、日本で義足装着手術をした元ウクライナ兵士の方も参加していました。



校長 石飛 一吉